

二子玉川駅周辺帰宅困難者支援マップ

このマップは、震災により電車やバス等の公共交通機関がストップした場合に、帰宅困難者が安全な行動ができるよう支援するためのマップです。

地域のみなさまは、あらかじめ事業所などに保管しておき、いざという時は、お客様や従業員への配布、店舗への貼り出し等できるよう、事前に準備しましょう。

世田谷区の緊急・災害情報

世田谷区HP



世田谷区玉川総合支所

X (旧Twitter)



災害用伝言ダイヤル

【1】災害用伝言ダイヤル (171)

災害発生時、個人の安否確認手段としてNTT東日本が運用するサービスです。

利用方法 「171」をダイヤルし、利用ガイダンスに従って伝言の録音・再生を行ってください。

NTT災害用伝言ダイヤル「171」

171にダイヤル

ガイダンスにしたがって利用する

1 自分の伝言を登録する

2 家族の伝言を確認する

自宅の電話番号を市外局番から入力

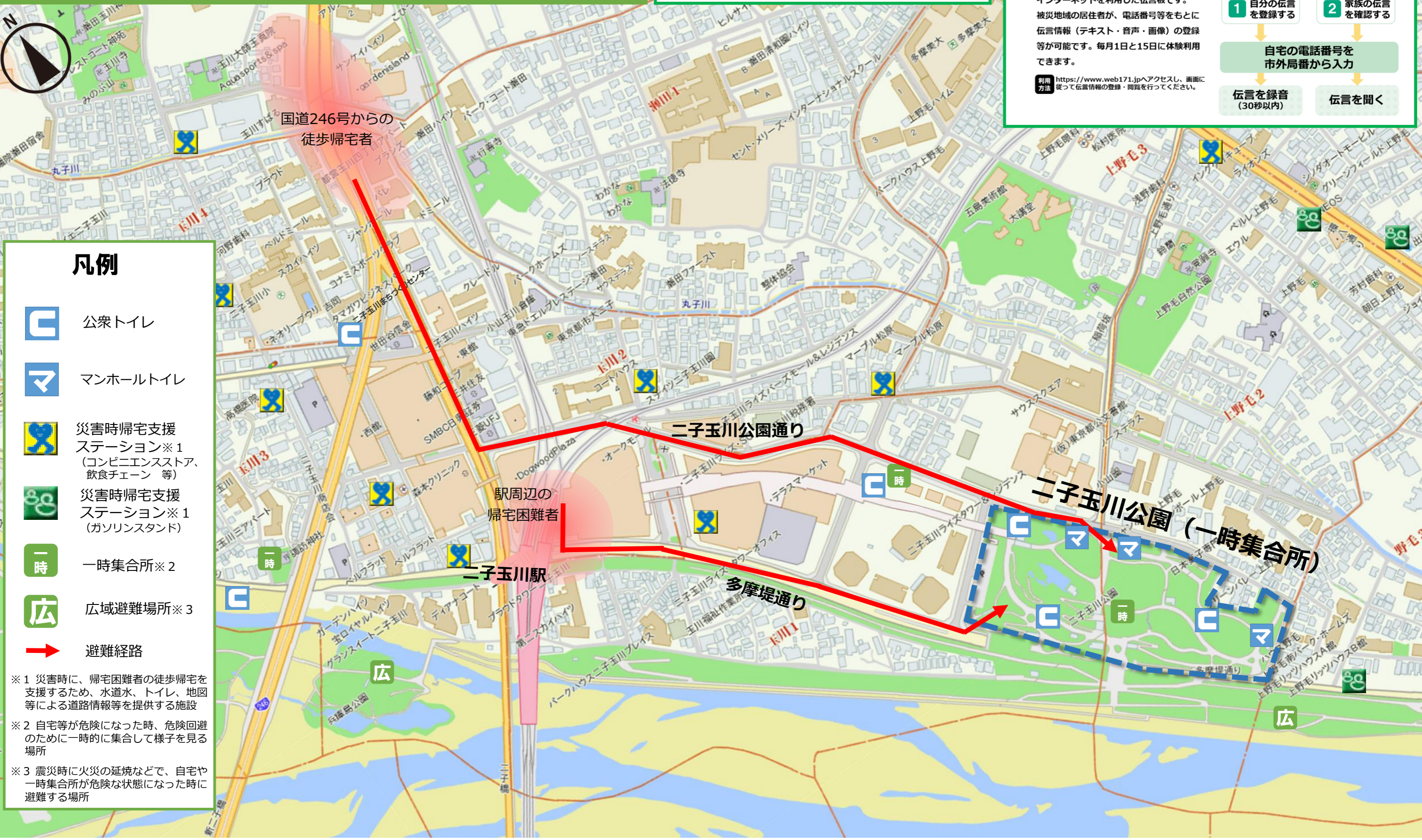
伝言を録音 (30秒以内)

伝言を聞く

【2】災害用伝言板 (WEB171)

インターネットを利用した伝言板です。被災地域の居住者が、電話番号等をもとに伝言情報 (テキスト・音声・画像) の登録等が可能です。毎月1日と15日に体験利用できます。

利用方法 <https://www.web171.jp>へアクセスし、画面に従って伝言情報の登録・閲覧を行ってください。



凡例

-  公衆トイレ
-  マンホールトイレ
-  災害時帰宅支援ステーション※1 (コンビニエンスストア、飲食チェーン等)
-  災害時帰宅支援ステーション※1 (ガソリンスタンド)
-  一時集合所※2
-  広域避難場所※3
-  避難経路

※1 災害時に、帰宅困難者の徒歩帰宅を支援するため、水道水、トイレ、地図等による道路情報等を提供する施設

※2 自宅等が危険になった時、危険回避のために一時的に集合して様子を見る場所

※3 震災時に火災の延焼などで、自宅や一時集合所が危険な状態になった時に避難する場所

二子玉川ルール

災害時は世田谷区HP等で災害情報の広報を行います。地域のみなさまは、二子玉川ルールや区からの情報に基づいて、帰宅困難者の安全確保に努めてください。



地震発生

- ①屋内滞留者は施設内待機、屋外滞留者は公園等に誘導する。
- ②駅周辺地域の事業者や隣接区市等と情報共有する。

地震発生時の行動

①外を歩いていた場合

持ち物等で頭部を保護し、建物、塀、自動販売機等から離れましょう。かわらや窓ガラスの破片等が落下してきたり、建物やブロック塀が倒れてきたりするおそれがあります。

②商業施設にいた場合

持ち物等で頭部を保護して、陳列棚から離れましょう。大きな柱の近くや広い場所へ移動し、係員や場内放送の指示に従いましょう。



③駅・電車内にいた場合

ホームにいたら、持ち物等で頭部を保護して、柱や壁に身を寄せましょう。
ホームから落ちた場合は、助けを求めて引き上げてもらうか、ホーム下の避難帯に避難しましょう。電車に乗っていた場合は、誘導や車内放送があるまで外に出るはいけません。

地震発生後の行動

- 十分な情報がないまま、むやみに移動を開始することは**大変危険**です。まずは職場や学校、近くの一時集合所施設など、安全な場所にとどまることを考えましょう。
- 駅や施設からの指示や誘導に従って行動してください。



避難時の行動

大地震に遭遇しても「あわてず、落ち着いて」行動するために、居場所に応じた身の守り方を覚えておきましょう。

施設が安全な場合、**発災後3日間は勤務先などに留まりましょう。**

①むやみに移動しない

災害発生後、すぐに帰宅しようとすることは大変危険です。徒歩帰宅するかを適切に状況判断するため、事前にしっかりと準備しておきましょう。

②安否確認をする

災害用伝言ダイヤル171などを活用し、家族や職場と連絡をとり、冷静に行動できるよう気持ちを落ち着かせましょう。あらかじめ、家族や職場などで連絡方法を共有しておきましょう。

③正確な情報をキャッチして冷静に行動する

災害時にはデマなどの情報が流れやすいため、正確な情報源により情報を入手し、どのような行動が安全なのか判断しましょう。

④お互いに助け合う

一時待機できる施設においては、要配慮者（高齢者、障害者、乳幼児、妊産婦など）を優先しましょう。

帰宅困難を想定した備え

備蓄物品を勤務先などに用意しておいたり、外出時の被災を想定した物を持ち歩いていると、いざというとき役に立ちます。また、普段使っているものを常に少し多めに備える「日常備蓄」を心がけると、管理・継続がしやすいです。

分類	品目	ポイント
食品	飲料水	ペットボトルで、水や自分が普段飲んでいる飲料を用意しましょう。
	携帯電話	チョコレートなどエネルギーのある携帯しやすいお菓子などを常に手元に置きましょう。
生活用品	懐中電灯	携帯しやすいペンライト・ヘッドライトなどが重宝します。
	携帯ラジオ	運びやすい形の方が便利です。
	タオル	汗を拭いたり、首に巻いて寒さをしのいだり、帽子の代用にするなど使えます。
徒歩帰宅に便利なもの	ティッシュ類	ウェットティッシュなどがあると便利です。
	スニーカー	長距離を歩くことを想定して、履き慣れたスニーカーを用意しましょう。
	寒暖対策用品	夏場は帽子、冬場はカイロ・手袋など。マスクや雨具などがあると便利です。
	地図・帰宅地図	あらかじめ、自宅までの帰宅経路地図を作り、休憩場所などを確認しましょう。
	携帯電話等の充電器	電池式、ソーラー式など使い勝手により用意しましょう。
	現金（小銭）	公衆電話を利用するために10円玉を用意しましょう。